研究部会報告

◉システム最適化◉

• 第6回

日時： 3月19日(水)　13:00～15:00

場所： 川崎製鉄㈱西山記念会館会議室　**参加者：** 15名

テーマと講師： (1)「Optimal Inventory Control Policies for Perishable Commodities」

能勢豊一（大阪工業大学）

(2)「材料切断問題の解法例…複数工程を加味したシームレス素材計算の概要」

土井良清（川崎製鉄）

研究会終了後，川崎製鉄葺合工場を見学させていただいた．

• 第1回研究講演会

日時： 5月16日(金)　14:00～17:00

場所： 京大会館　**参加者：** 17名

テーマと講師： (1)「非線形計画の最近の話題」

福島雅夫（京都大学）

(2)「後工程引取り生産方式と部品中心生産方式における在庫費用構造の分析と比較」

宮崎茂次（大阪府立大学）

(1)は特に非線形アルゴリズムにおけるMaratos effectの解消について．(2)はトヨタ看板方式と部品中心生産方式との費用の比較についてであった．

• 第2回研究講演会

日時： 7月4日(金)　14:00～17:00

場所： 帝人ビル　**参加者：** 15名

テーマと講師： (1)「ある設備配置問題について」

松富達夫（近畿大学工学部）

(2)「スケジューリング問題について」

石井博昭（大阪大学工学部）

(1)は松富氏の緊急設備配置問題の最近の研究のサーベイで(2)は最近のスケジューリング問題の研究を講演者の研究を中心としてサーベイしたものである．

• 第1回関西支部講演会（参加者27名）

日時： 8月26日(火)　**場所：** 住友ビル

R. K. Sarin 教授（カリフォルニア大学）

「Lottery Dependent Utility : A Model for Decisions under Risk」

Certainty Effect について，実は効用関数が違うのではないかという考えを示された．

（当講演会はわれわれの研究会の担当で行なわれた）

◉待ち行列◉

• 第24回

日時： 6月28日(土)　14:00～16:30

場所： 東京工業大学情報科学科会議室　**出席者：** 43名

テーマと講演：

• Q24—1　有限待ち行列ネットワークにおける積形式（NTT通研・橋田　温）—系内人数に制限のある待ち行列ネットワークにおいて，定常分布が積形式で与えられるモデルのサーベイ．

• Q24—2　仕事量保存則の開放形待ち行列網への拡張（NTT通研・住田修一）—開放形待ち行列網における仕事量保存則について考察した．

• 第25回

日時： 7月26日(土)　14:00～17:00

場所： 東京工業大学情報科学科会議室　**出席者：** 20名

テーマと講師：

• Q25—1　通信システムにおける多元トラヒック処理（NTT通研・三宅　功）サーベイとINSの解析

• Q25—2 Quasi-Insensitivity in Some Queueing Systems（都立科技大・山崎源治）Quasi-Insensitivityを定義し，GI/GI/lとGI/GI/mの性質を解明した．

• Q25—3　通信トラヒック解析と計算機性能評価に関する国際セミナー出席報告（NTT通研・川島幸之助）

◉新社会システム◉

• 第9回

日時： 7月11日(金)　13:30～15:40

場所： 札幌市北三条三井ビル地下1階会議室

テーマ： ニューメディア実用の時代へ

講師： 玉石良次（三井物産㈱情報産業開発部）

笹原平太郎（札幌テレガイド㈱）

「物」だけを扱っていた商社が「情報」の販売を手がけるようになった経緯と，現在のニューメディアおよびデータベースの現状を社会的な観点からお話しいただいた．また，6月よりサービスを開始した札幌テレガイドの営業レポートと今後の展望をお話しいただいた．

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．

●交通問題●

• 第27回

日時： 7月16日(水)　18:00～20:00

場所： 東洋経済新報社ビル（日本橋）　**出席者：** 11名

テーマと講師：「国鉄改革の現状」

松田和久（日本国有鉄道・経営計画室）

「国鉄分割・民営化」の昭和62年4月実施をめざして国鉄改革関連法案9本が作成されたが，その概略説明があった．国鉄の改革は多くの問題をかかえており，実現にむけて努力中であるが，実現後は地域に密着したサービス向上を図り，地域の実情に合ったダイヤ編成，列車の増発，スピードアップなど，次々に乗客の利便のため実施し，他社との競争力を高めていく予定である．

●政策科学（関西）●

• 第12回

日時： 7月19日(土)　14:00～16:30

場所： 芦大クラブ　**出席者：** 32名

講演者および講演題目：

「因果関係知識ベースと人間の認知プロセスモデルを用いた意思決定支援システム」

椹木哲夫（京都大学工学部）

「米国におけるDSS（意思決定支援システム）の現状」

辻　新六（神戸商科大学経済研究所）

要　旨

(1) 人工知能，認知科学の分野において，1970年代以降，現実的問題の解決に専門家の経験的知識を利用するための新しいコンピュータ利用技術が開発されている．

椹木氏他は，認知構造図を用いて，問題領域に固有な専門家の知識を因果連鎖構造として抽出，多階層知識ベース化し，意思決定者の個々の視点にそって，問題対象の内容の明確化，その構造の大局的な掌握を可能にする意思決定支援システムを開発している．

(2) 米国におけるDSSの現状を，DSSの事例，DSSビジネス，DSSという用語の定着，AI エキスパートシステムとの関連から報告．(イ)学習と進化の適応プロセスをいかに組み込むか，(ロ)よりユーザーフレンドリーに，といった今後の課題が述べられた．

●D　P●

日時： 7月29日(火)　15:00～17:00

場所： 東京都立科学技術大学　**出席者：** 5名

講師： 程野　眞（KGC）

テーマと内容：「都市開発システム―日照条例にもとづく逆日影計算体系の一考察―」

建築基準法で日照時間を満たす建築物の影条件を，逆日照計算システムという新システム計算手法で行なった．統計的手法で公理より構築されている科学的理論である．統計理論の実務への応用で実務作業の大幅な作業時間短縮と，すべての日照条件を満たす新システムの開発である．ただし日照条件を満たす手法は他にも開発されているが，この手法は，まったく新しい思考にもとづく計算手法でありオリジナルな構築を行なっている．

●日本的システム科学●

• 第17回

日時： 8月9日(土)　14:00～17:00

場所： 八丁堀　東京都勤労福祉会館　**出席者：** 8名

テーマ：「企業の衛生学：日本の300年企業の経営システム：三井高利の軌跡」

発表者： 上田亀之助（コンサルタント）

日本には300年以上続いて現在も盛業中の企業がかなりあります．その初代の方たちは一体どんなお考えで，このように永続する経営システムを策定なさったのでしょうか？　それを感謝と尊敬の念をもって分析してみることにしました．

●社会経済分析●

日時： 8月16日(土)　14:00～17:00

場所： 東京都勤労福祉会館　**参加者：** 11名

テーマ： ベンチャービジネスの現状と問題

講師と内容： 山本尚志（現代経営技術研究所）

ベンチャービジネスは一見有望な企業体質のように見受けられるが，内情をみると幾多の問題点のあることが分析された．ベンチャーを企図するには特に企業人の意識革命の必要性が強調された．中高年男性の生き方を考えるための論文「中高年男性よどこへ行く」ができましたので希望の方は郵送料70円同封の上お申し越しください（〒160 東京都新宿区大久保1―3―3，セイントマンション604，小島光造，Tel. 03 (200) 8795）

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．